



2年学年だより

発行日:令和7年2月 28 日(金)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:星野 浩 NO.10



令和6年度の有終の美を求めて

今月は南高校附属中学校 14 期生適性検査、南高校 72 期生高校入試が実施されました。南高校および附属中学校にも新しい春の足音が聞こえてきます。令和 6 年度の附属中学校の生活も残りひと月となりました。今年度の総仕上げをしている各学年の様子をお伝えします。保護者の皆さま、1 年間さまざまな場面でお力添えいただきありがとうございました。令和 6 年度も残りひと月、よろしく願いいたします。

学力

3年学年主任

「学力」。みなさんが考える「学力」が意味するものとは何でしょうか。「テストの点数」、「学校での通知表」、「勉強で覚えた知識」など。このような意味合いのものが頭に思い浮かぶ人も多いのではないのでしょうか。しかし「学力」という語句は「学ぶ力」と捉えることもできます。人間は誰も「学ぶ力」を持っています。生まれたばかりの頃にはできなかったことが、歳を重ね成長するごとにできるようになっているのは、「学ぶ力」があるからこそだと思います。また、そのできるようになったことやわかるようになったことは、他者に事細かく教えてもらったことばかりではないはずです。自分で経験したり、調べたり、人に教わったことを結びつけたりしてできるようになったことばかりだと思います。そうであるならば人間は本来的に「学ぶ力」を持っているはずです。「学力」を「学ぶ力」と捉えると、人間は素晴らしい「学力」を持っています。私自身も日頃から「学力」を伸ばし続ける人間でありたいと思います。ぜひとも南高附属中のみなさんは、いつまでも「学力」を伸ばし続け、たくさん成長していきましょう。

節目を大切にすると…

2年学年主任

明日から3月。春は、出会いと別れの季節と言われます。今のクラスのみみなとお別れ。新たな仲間との出会い。卒業式や入学式等、さまざまなイベントが多いことも、春らしい特徴な気がしています。「学校」に所属していると、それ以外にも、たくさんのイベントや行事、はたまたテスト等があり、「明日は〇〇があるな」「来週は〇〇だ」と思うことも多くあるでしょう。そうした節目を大切にすべき理由は、どこにあるのでしょうか。

1日で1.2メートルも伸びた記録があるという、「竹」。その成長のワケは…竹のもつ「節」にあるそうです。節ごとに「成長点」が、それぞれぐんぐんと伸びることで、全体も強く・大きく育つのだそう。そう考えると、人間も同じかな…。イベントや行事だけでなく、テストや部活動の発表会や試合、みなさんが迎える節目こそ成長点です。もちろん、面倒なこともあるかもしれませんが。そんなとき、「どうせ同じ時間を過ごすなら、きちんとやっておくか」と思うと、不思議とその時間が自分にとってプラスに作用するものです。節目を大切に、「どうせやるなら」の精神ももちつつ、大きく成長していきましょう。

個性や多様性を認め合える世界へ

1年学年主任

今月、高校生のカナダ国際交流プログラム「姉妹校 Point Grey Secondary School 訪問」に帯同してきました。現地では、南高校生の活動に関わらせていただくとともに、観光スポットを沢山見学してきました。珍しく大雪が降ったようで、山は勿論のこと、バンクーバー市街地も、とてもきれいな雪景色となっていました。

カナダの人たちと関わる中で感じたのは、個人主義の強さです。大人も子どもも、「自分がどう生きたいか」という気持ちが前面に出ていました。また、それを互いに認め合おうとする関係性が素敵でした。まるで、他人を偏見や差別の目で見るのはもっての外だと言っているかのよう。私たちは、よく言えば「空気を読む力」が長けていますが、もう少し自己主張をしていいようにも思います。誰かの夢や目標を聞いた時、誰かが頑張っている姿を見た時、自分と異なる思考に出会った時、もっと認め合っているのではないのでしょうか。

人種、宗教や背景となる文化、LGBTQ+…など、様々な多様性を当たり前のように認め合える次の社会(ステージ)に、みんなの力で具現化していったらいいと思います。是非、4月から学年が1つ上がることを良いキッカケにして、色々なことに全力でチャレンジし、互いを認め合える仲間や集団作りを目指していきましょう。君たちならできる!!

EGG の取り組み

中学校生活も2年が過ぎようとしています。4月からはよいよ3年生。次年度は3年間の EGG ゼミをはじめとして、今までの学校生活で身に付けた「課題発見・解決能力」や「論理的思考力」を生かして、研究活動を行う1年となります。

個人で課題を発見・設定し、問題意識をもって活動し、『世界を幸せにする第一歩』となる具体的な提案を目指して、個人で調査研究活動を行い、卒業論文と抄録を作成、「卒業研究発表会」を開催し、自分の研究結果についてプレゼンテーションをするといった一大イベントが待ち構えています。

この様な3年生の活動に向けて、今月は EGG の時間に「70期 TRY&ACT 講演会」「日テレ×授業～情報のタネの見つけ方～」が行われました……。



○ 「70期 TRY&ACT 講演会」

南高校の「総合的な探求の時間」である『TRY&ACT』の講演会が2月8日(土)、南高ホールで行われました。高校70期生(現高2年)の「SPARK」「すずかすてら」「Universal girls」

「みなみみらい」の4つのグループの高校生が、それぞれの研究発表、プランの作成方法、課題設定の仕方、中学時代の卒論や EGG の取り組みと現在の関わりなどについて発表しました。その後、教室へ戻り、4つのグループも各クラスを回り、中学生の様々な質問にも笑顔とユーモアを交えながら答えてくれました。



中学生が高校の TRY&ACT の取り組みを知ることで、今後の学校生活を見通しをもって取り組むことが出来、また卒業研究の課題設定をする上での参考になることと思います。

高校生の皆さん、ありがとうございました。



Spark のみなさんへ

現状から課題を立てて、多様な視点で問題点を見つめる探求のプロセスとその重要性を学びました。現地に行ってヒアリングをして、問題点を細かく分析し、行動に移すところを見習いたいと思いました。

M.K

すずかすてらのお二人へ

1つの商品を作ることで3つ視点を解決できるのはすごいことだと思いました。「1つのことに固執しすぎない」ということがどれだけ大切なのかということも、よく伝わりました。

E.M



Universal girls のみなさんへ

実際に現地に行って活動をしたというお話を聞くことが出来て貴重な経験になりました。また、私は卒論にかたいイメージがあり、テーマ決めに苦戦しているのですが、自分が好きなことでも見方を変えれば研究のしがいがあると分かり、少し気が楽になりました！

ありがとうございました！

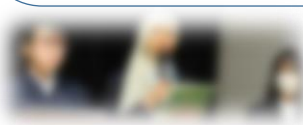
E. M



みなみみらいのみなさんへ

みなとみらいの観光に関するアプリの開発について、全て英語で話されたことについてはすごく驚きました。また、アプリについてもリアルタイムで情報を得るなど他の SNS と差別化を図っていて、すごく工夫しているなと感じました。これからの卒論の作成などに役立たせようと思います。本日は本当にありがとうございました。

A.W



○ 「日テレ×授業～情報のタネのを見つけ方～」

2月18日(火)のEGGでは、日本テレビのコンプライアンス推進課の櫻井舞さん、山見穰太郎さんを講師として招聘し「日テレ×授業～情報のタネのを見つけ方～」の出前授業をしていただきました。

<主な内容>

- ・「キラリと光るテーマ」を見つけるちょっとしたコツ
- ・日本テレビのディレクター取材・企画の裏側
- ・いかに調べられるか
- ・リサーチする際の大切なコツ
- ・人に伝えるためのブラッシュアップ法

キラリと光るテーマを見出す方法、そしてそのテーマを人に伝え、社会に届けるためのコツを、テレビ番組制作のノウハウと体験談を交えながら伝授していただきました。



<感想>

着眼点を変えて、様々な角度から物事を見るということが、人を惹きつけるようなテーマの設定だと知り、ためしていきたいと思います。

私はインターネットで情報収集をすることが多かったが、アナログが大切と聞いたので、中3ではそれを生かしていきたい。

また、自分が集めた情報を取捨選択するとき、何も知識がない第三者に聞いてみると良いということを知ったので、卒論を書くときに生かしたいと思いました。

A.R

私は今、卒論のテーマ決めでものすごく困っていて、自分が良いなと思ったキーワードはあるものの、そこから良いアイデアが思い浮かばず、とても悩んでいました。この授業を受けていろいろな視点から、見たり、足を運び、色々な書籍を読み漁り、自分が納得できるテーマを決められるよう頑張ろうと思いました。

S.Y

ネットだけでなく、本や新聞、雑誌も使っているというところが役に立ちました。去年のテーマはネットがメインになってしまっていたので、今年はもっと本なども使っていきたいと思いました。木原さんの動画を見て、そぎ落とすことがどういうことなのかが具体的にわかりました。

お忙しい中にもかかわらず、授業をしてくださり、ありがとうございました。

N.K

動画などの内容に出てきた「総論ではなく、各論から」というのがとても参考になりました。今、ちょうど卒論のテーマ決めで、かなり苦戦していました。

しかし授業後にテーマの用紙を何とか書き終え、提出したらスムーズに通ることが出来ました。

また内容だけでなく、スライドも要点がきれいにまとまっていて参考になるところが沢山ありました。

W.H



学年レクリエーション

2月17日(月)、リーダーの富田尚希さんを中心に、各クラスのレクリエーション係が、企画立案から運営指揮にあたり「学年レク」が盛大に行われました。

種目は【王様ドッジボール】【ペア探しゲーム】【ジェスチャー伝言ゲーム】の3つ。



レク係が「ルール説明動画」を事前に作成し、各クラスで視聴していたので、スムーズに各種目が進行していききました。

学年内の交流は更に深まり、この勢いで期末テストを乗り越え、頼もしい3年生になってくれることでしょう。

